

## 2018 第19回全国オープン清心空手道選手権大会 実施要綱

主催 清心流空手道協会総本部

後援 全日本硬式空手道連盟、(株)下野新聞社、(株)とちぎテレビ、(株)エフエム栃木、(株)栃木放送

1 日時 平成30年12月9日(日) 午前9:30開場・受付開始 10:00開会式

2 会場 栃木県体育館 武道館(宇都宮市中戸祭1丁目6-3 電話028-622-4201)

3 参加費 5,000円(保険料、パンフ及び記念品代を含む。)

(組手・型のダブルエントリーは7,000円)

※大会参加費の一部を福祉事業支援等のための義援金として寄付します。

※試合中に発生した傷害については、応急手当のほか、その後の治療については大会保険を適用しますが、その他については主催者は一切責任を負いません。

※会場は一部床となります(マット、畳等なし)ので、御承知置きください。

※昼食は出ませんので各自御用意ください。なお、会場近くにコンビニがあります。

※参加申込団体には後日指定駐車場の案内を送付します。駐車場は非常に少なくなっておりますので、極力公共交通機関を利用又は相乗りをお願いします。なお、周辺のコンビニ、病院等、指定箇所以外には絶対に駐車しないようお願いします。

4 表彰 各部門1位から3位※、最優秀選手賞、会長特別賞、敢闘賞、勇気賞他(予定)

(※2名→優勝者のみ、3・4名→優勝・準優勝、5~7名→優勝・準優勝・3位(1名)、8名以上→3位2名)

5 申込方法 申込書と参加費を現金書留に同封の上、下記宛て郵送してください。

6 申込締切 平成30年10月31日(水)(厳守)

※申込締切日以降は参加費をお返しできません。

7 大会種目(※昨年同様、組手と型のダブルエントリーは可とします。試合順:型→組手)

(1)組手部門(防具付)

①幼児の部(申込人数により年小・中・長別、男女別とします。)

②小学生の部(申込人数により学年別・男女別とします。)

③中学生の部(男女別)(申込人数により学年別とします。)

④高校生の部(男女別)(申込人数により学年別とします。)

⑤マスターズの部(40歳以上) 軽量級の部(70kg以下)、重量級の部(70kg超)

⑥一般女子の部

⑦一般男子有級の部 軽量級の部(70kg以下)、重量級の部(70kg超)

⑧一般男子有段の部 軽量級の部(70kg以下)、重量級の部(70kg超)

(2)型部門

①幼児の部

②小学生の部(申込人数により学年別とします。)

③中学生の部(申込人数により学年別とします。)

④高校・一般有級の部(申込人数により男女別とします。)

⑤高校・一般有段の部(申込人数により男女別とします。)

※各部門とも、参加申込み者数によりクラスの分割統廃合を行う場合があります。

8 申込み・問い合わせ

〒320-0017 栃木県宇都宮市戸祭台17-3

第19回全国オープン清心空手道選手権大会 実行委員長 伊藤満

TEL/FAX 028-643-2351 携帯電話090-6486-5896

E-mail: kaiseikanjp@yahoo.co.jp





# 会場案内図



## 〈JR線利用の場合〉

JR宇都宮線宇都宮駅下車→タクシー（約15分）

バス 駅前ターミナル1番・2番乗車口

「清住・戸祭」行き乗車 約15分 県体育館前下車

## 〈東武線利用の場合〉

東武宇都宮線宇都宮駅下車→タクシー（約10分）

バス 大通りバス停留所「東武駅前」まで徒歩2分

「清住・戸祭」行き乗車 約10分 県体育館前下車

## 〈自家用車利用の場合〉

東北自動車道 宇都宮インターから約15分

鹿沼インターから約30分

## 第19回全国オープン清心空手道選手権大会競技規程

### I 組手の部（防具付）

1 時間 中学生の部まで及びマスターズ：1分30秒、高校生以上：2分間

#### 2 勝敗

- (1) 中段の突き・蹴り及び上段の突きは1ポイント、上段の蹴りは2ポイントとする。
- (2) 加点方式とし、相打ち、止めが掛かる前の返し技、連続技は全てポイントとする。
- (3) 「ポイント差が5ポイント以上」で勝ちとする。
- (4) 反則箇所を除く部分へ突き又は蹴りを瞬時に決め、相手を倒したとき、又は相手の戦意喪失により試合続行不可能をなつた場合、有効技を3本続けて決めた場合は一本勝ちとする。
- (5) 正拳による突き、蹴りを有効技とし、手刀、裏拳、拳槌、掌底は有効技としない。
- (6) 5ポイント差がつかず時間が終了した場合はポイントの多い選手の勝ちとする。同点の場合は1分間の延長戦を行う。
- (7) 延長戦で双方に得点がなかった場合、主審及び副審の最終的な旗判定により勝者を決する。（決勝戦のみ再延長まで行う。）

#### 3 反則、禁止事項

- (1) 後頭部、首、側面耳、防具以外への攻撃、股間部、下肢への蹴り技、投げ技、掴み（瞬間的な引っかけは除く。）、組み付き、体当たり、肘・膝・バックハンドによる攻撃
- (2) 場外（相手に押されたり投げられた場合は除く。）の繰り返し、時間を空費させるための行為
- (3) 罵倒、挑発的言動、相手の人格を無視する言動、態度、審判の指示に従わない、その他空手修行者として相応しくない言動・態度

※セコンドによる武道精神に反する過度な応援、中傷言動があった場合は選手を失格とする。

- (4) 場外及び他の反則は1回目を警告とし、2回目から相手選手に1ポイントを与える。場外と他の反則は別々にカウントし、延長戦には本戦の反則歴を持ち越さない。

4 使用防具（※参加者が用意してください。止むを得ない事情がある場合には貸し出しもいたします。）  
顔面・頭部プロテクター（スーパーセーフなど目の部分が開いていないもの）、拳サポーター（布製のものに限る。）、胴プロテクター、ファールカップ、レッグサポーター、マウスピース（できるだけ用意）使用。

### II 型の部

#### 1 形式

フラッグ制（旗上げ方式、主審含め3名又は5名）のトーナメント形式とする。

競技は、2人（赤、白）の競技者が2人同時に行うものとする。

#### 2 型の種類

自由型（2分以内）とする（決勝戦は2分30秒以内）。

#### 3 判定基準

- (1) 良いタイミング、リズム、スピード、バランス、極め
- (2) 極めに必要な正確で適切な呼吸
- (3) 着眼、及び集中力

※コート境界線を越えても減点としない。

### III 共通事項

- (1) 選手は全て空手着着用とする。（色は自由）
- (2) 大会における事故、怪我は参加者自身の責任とし、対戦相手又は主催者、関係者等に一切の損害賠償、補償等の請求は参加申し込みの時点で放棄するものとする。
- (3) 会場での各自のゴミ、空き缶はそれぞれの責任で持ち帰ること。
- (4) カメラ、ビデオの撮影は自由とするが、大会進行の妨げにならないよう主催者が指定した場所で行うこと。
- (5) 選手、団体引率者、観戦者共に会場内では節度ある行動、応援に心がけること。審判への暴言、ヤジ、選手を中傷する言動等、芳しくない判断した場合には主催者側で退場を命ずることもある。